■ 超階層生物学共同利用研究

ゲノムから高分子複合体、細胞小器官、細胞、組織、器官、個体、個体群にいたる様々な階層に渡る生物現象を統合的に理解するために、所外の研究者と基礎生物学研究所の教員が共同して行う研究。本共同利用研究は、ある階層の生命現象を別の階層の生命現象と結びつける「階層を超えた研究（超階層生物学 Trans-Scale Biology）」が、生物学におけるインパクトの高い研究につながるとの観点から推進するもので、以下のような研究が含まれます。a) 複数の階層に渡るネットワーク解析から生物現象を理解する研究　b) AI によるビッグデータ解析や人機協働による階層を超えた新たな知見につながる研究　c) モデリング、シミュレーション等の情報科学の技術を取り込み、生命現象の異なる階層を繋ぐ研究　d) 幅広い階層のイメージングデータやトランスオミクスデータを扱う研究。１件あたり年間上限 100 万円の研究費を助成します。本研究は随時募集致しませんので公募〆切日までにご応募下さい。

■ 新規モデル生物開発共同利用研究

生物学研究に有用な新しいモデル生物の確立および開発に向けて、所外の研究者と基礎生物学研究所の教員が共同して行う研究。共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ 個別共同利用研究

所外の研究者が、基礎生物学研究所の教員と協力して行う個別プロジェクト研究。共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ 統合ゲノミクス共同利用研究

基礎生物学研究所が運用している次世代 DNA シーケンサーを使用したハイスループット遺伝子解析、および、大規模計算機システム（生物情報解析システム）を活用したゲノム関連データ解析を中心に、基礎生物学研究所のトランスオミクス解析室、データ統合解析室と共同して行う研究。共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ 統合イメージング共同利用研究

基礎生物学研究所が運用している特色ある先端光学機器を用いた実験・研究、および生物画像処理・解析に関するニーズや課題を解決することを目的として、基礎生物学研究所の教員と共同して行う研究。共同利用研究の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ 大型スペクトログラフ共同利用実験

大型スペクトログラフを使用して行われる実験・研究。共同利用実験の実施に必要な基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究

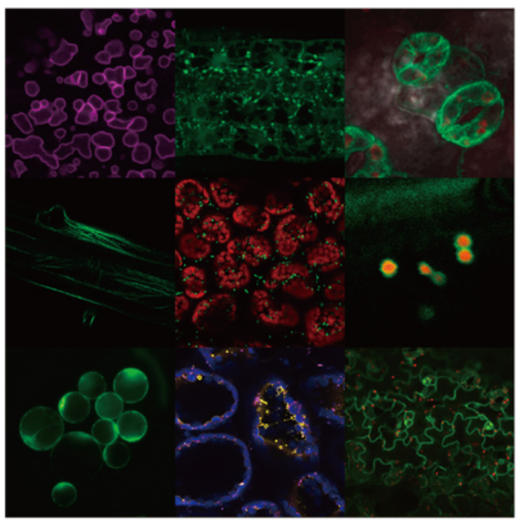
研究に利用される様々な生物遺伝資源を安定に長期保存する技術を確立・改良し、将来的にはそれら資源のＩＢＢＰセンターでのバックアップ保管に資することを目指して行う研究。ＩＢＢＰセンターあるいはＩＢＢＰ大学サテライト拠点の教員と共同して、生物遺伝資源の新規長期保存方法の樹立を目指すものです。１件あたり年間上限 50 万円の研究費を助成します。本研究は随時募集致しませんので公募〆切日までにご応募下さい。

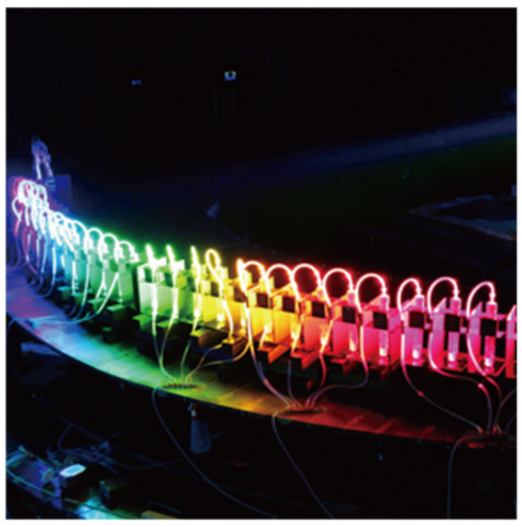
■ 研究会

基礎生物学分野において重要な課題を対象とした比較的少人数の研究討論集会の開催を支援します。研究会における発表者の基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料を予算の範囲内で配分します。

■ トレーニングコース

基礎生物学に関連する研究技術の普及を目的としたトレーニングコースの開催。トレーニングコース開催における講師及び補助者の基礎生物学研究所までの交通費および日当・宿泊料、また実施に必要な試薬等の消耗品費を予算の範囲内で配分します。





NIBB

２０２７年度
大学共同利用機関法人
自然科学研究機構
基礎生物学研究所
共同利用研究

公募〆切
２０２６年１２月２日

超階層生物学共同利用研究・生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究以外の公募事項は２０２７年４月１日から１０月末日まで随時募集受付いたします

公募の詳細は WEB をご覧下さい

https://www.nibb.ac.jp